

今週のセルグループ (赤字)		2月5日(日)~2月11日(土)	
セル	休講		
グレイス 鈴木千姉	2/10(金) 午後8:45	鈴木宅	1/27 3名
Gospel 鈴木尚姉	2/6(月) 午前10:00	Zoomで 分かち合い	1/27 3名
オニコス 磯貝姉		LINEで 分かち合い	1/29 6名
からし種 磯貝姉	2/9(木) 午前10:00	Zoomで 分かち合い	1/26 4名
ユース 岩下兄	2/15(水) 午前10:00	Zoomで 分かち合い	1/29 5名
Rock 鈴木洋兄	2/15(水) 午後8:30	鈴木宅	1/25 3名
シャローム 平岩姉	2/11(土) 午前10:00	平岩宅	1/28 4名
なつめやし 高橋智姉	2/5(日) 練習後	高橋宅	1/22 3名
リジョイス 杉本姉	2/11(土) 午前11:30	交わり	1/24 5名
ジョイフル 穂苅兄	2/5(日) 礼拝後	交わり	1/17 7名
アガベ 長塚姉	2/12(日) 練習後	コミュニティー センター	1/22 4名
サクセス 鈴木勝兄	2/12(日) 礼拝後	交わり	1/29 8名
リーダーズ セル	2/8(水) 午後7:00	Zoomで 分かち合い	
セル研修	休講		
ビジョン 平岩恵兄	2/5(日) 午後2:00	LINEで 分かち合い	1/15 2名
worship 長塚寛兄	2/19(日) 礼拝後	長塚寛宅	1/29 5名
高校生 平岩姉	2/5(日) 午前8:30	第三教室	1/29 4名
中学生 梅田姉	2/5(日) 午前8:30	第四教室	1/29 5名
キッズ2 小山姉	2/5(日) 午前8:30	第二教室	1/29 3名
キッズ1 芳井姉	2/5(日) 午前8:30	コイノニア ルーム	1/29 9名
Shine 小原姉	2/12(日) 午後4:30	小原宅	1/22 4名
ギデオン 芳井兄	2/11(土) 午後6:30	芳井宅	1/28 2名
カルバリ 野田兄	2/7(火) 午前11:00	交わり	1/17 7名
神の家族 伊岐見真姉	2/12(日) 午後7:30	LINEで 分かち合い	1/29 2名
ぶどうの枝 成瀬兄	2/12(日) 午後1:30	コミュニティー センター	1/22 5名
恵み 菅原姉	2/5(日) 礼拝後	交わり	1/29 4名

前回の証しなど

主の声を聞き分けなさい。断りました。関係が悪くなることはありませんでした。ランチの交わりをしました。

きっと周りの人を神様が使って解決する道を与えてくれたと感謝しています。些細なことから平安をなくしている。神様の声を聞き分けていないから。知らせてあげなさいと語られ、伝えた。すべて神様が守ってくださったのだと感謝した。イエス様について来て、家族や経済が守られて来たことは本当に感謝なこと。交わりの時をもちました。

見ていると穏やかで、その笑顔は僕には出てこない。僕みたいなのも、そうなるの？主は人を通して語って下さる。悔い改めに導かれ感謝します。皆の見本になるように、主に完全に従って祝福されていきたい。と思いました。

セルリーダーのためにお祈りください。

正しい事をしていると言いつ聞かせていたけど「愛していない」という思いが与えられた。今週です。

主が共にいてくださるという励ましが、みことばを通して与えられた。

セルリーダーのためにお祈りください。

いずれにしろ、主のなさること、神様を信じて結果を待とうと思った。普通は間に合わないはず。でも、祈ってやったら、1時間もかからなかった！感謝した！僕のこと好きじゃないかもと言う声を聞いて気にしていた。神様の声が必要。私は神様の羊になりたい。

『また、つぶやいてしまいました。』と気づく度に向きを変えることのできた一週間。思いやる気持ちも愛もないものだ、自分にばかり目がいつている。とよくわからされた。指摘を受け入れられないことや正しいと思いつ込む心が砕かれますように祈りました。「行きなさい。」と言われる声がいつもありました。神様が導いて下さったことに感謝。自分が間違っていることを認められた。イエス様の愛に満たされている。自分の中でいろんなことにふたをしてみないふりをしていることに気がついた。

礼拝奉仕	聖日礼拝		祈祷会	
	司会	奏楽		奏楽
今週	2/5(日)	大高愛姉 岩下渚姉	2/9(木)	鈴木尚姉
来週	2/12(日)	大高愛姉 鈴木千姉	2/16(木)	鈴木千姉

※ 礼拝バイブルスタディは午前11時45分から午後1時。小会堂で行います。

※ 2/7(火)のバイブルスタディは配信で行います。午後1時、7時。テキストは「讚美の力」(1600円)です。また、Zoomでも受講できます。(昼の部のみ)(Zoomを希望する方はメールで連絡をして下さい。申込先 david@revival.jp)

祈りの課題

- ・人々の救いを覚えて
 - ▶ 家族知人をキリストへ
 - ▶ 教会近隣の人々の救い
 - ▶ 東海地方の救いのために
 - ▶ 日本の救いのために
 - ▶ 世界の救いのために
- ・働きを覚えて
 - ▶ バイブルスタディの働き
 - ▶ リバイバルクワイヤーの働き
 - ▶ リバイバルママズの働き
 - ▶ 那古野アウトリーチの働き
 - ▶ 祈祷会の祝福
 - ▶ 日曜礼拝の祝福
 - ▶ 牧師の働き
- ・ギデオン協会の働きのために
- ・セルグループの祝福
 - ▶ LIG人生変革グループの祝福
- ・プレーヤーハウスの祝福のために

聖日礼拝 (日曜) (第一)	午前 10:00~11:30
キッズセル(子供礼拝) (日曜)	午前 8:30~9:50
日曜礼拝バイブルスタディ (日曜)	午前11:45~午後1:00 ☆礼拝に出席してから、ご参加下さい。
バイブルスタディ (第1、第3火曜)	(昼) 午後 1:00~ 2:30 (夜) 午後 7:00~ 8:30
祈祷会 (木曜)	午後 7:00~ 8:30
特別早天祈祷 (木曜)	午前 6:00~ 7:00

主の御手 週報 NO.1436

2023年2月5日(日) 発行 2月第1週

私たちのビジョン [宣教] 主の御手が彼らとともにあったので、(使徒の働き11:21) 大ぜいの人が信じて主に立ち返った。

日曜礼拝

開始10時

- ・讚美
- ・祈り (祈りの姿勢をおとり下さい。)
- ・聖書交読 (司会者と交互に全員で読みます。)
- ・讚美
- ・メッセージ
- ・祈り
- ・神への感謝 (集会感謝の献金があります。ご意志で自由にどうぞ。)
- ・主の祈り (初めての方はスクリーンをご覧になってどうぞ。)
- ・連絡

お願い

(1) 礼拝後は、必ずコイノニアルームなど、室内にお入りください。道路上にとどまることがないようにお願いします。

(2) また、必ず一度は、コイノニアルームに立ち寄るようにお願いします。重要なお知らせなどがあります。

今年のテーマ わたしは主、あなたをいやす者である。(出エジプト記15章 26節) [いやし] 新改訳第3版

日曜日は教会へ

主の御手がともにある
名古屋バイブルチャーチ

〒451-0012 名古屋市西区那古野2-20-19
TEL 052-587-5060 FAX 052-587-5061 牧師 中西幸輝

自分に死ぬ

「ガラテヤ人への手紙2：20 もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。今私が肉において生きているいのちは、私を愛し、私のためにご自分を与えてくださった、神の御子

に対する信仰によるのです。」

アメイジング・グレイス

「アメイジング・グレイス」は、今から200年以上も前に、ジョン・ニュートンという人物によって作詞された賛美歌です。今でも世界中で歌い継がれ、知らない人はいないと言われるほど有名な曲です。作詞をした彼は、母が熱心なクリスチャンでした。彼が7歳になる前に病気で亡くなりました。彼はその後、地中海貿易をしていた父の船の乗組員になります。そして後に彼は、奴隷売買に手を染め、奴隷として買われた黒人たちを船底に押し込んで暴行したりしていました。その扱いは、家畜同様、むしろそれ以下でした。

そんな彼が22歳の時に転機が訪れます。乗っていた船が嵐に見舞われ、転覆しそうになる出来事が起きました。彼はその中で、必死に神に祈り求めました。船は奇跡的に助かり、その出来事をきっかけにして、彼は奴隷船の仕事をやめ、神学を学び始めます。その後牧師となります。そして自分の体験をもとに書かれた

のが「アメイジング・グレイス」でした。「私のようなこんな愚かだめな者を、神は救ってくださった。何という驚くべき恵みであろうか。」と記しています。私たちが聖歌で、「驚くばかりの恵みなりき この身のけがれを知れる我に」と歌います。彼の人生を通して、「自分の行いがいかに深刻な結果を招いてしまうのかを知ることがなければ、神の恵みの素晴らしさを知ることはできないのだ」と教えられます。

私が生きているので失敗してしまう

私たちの生まれながらの性質は、罪を抱えた存在です。自分自身の罪ゆえに苦しんでいます。内側にあるものは、人をねたむ心、憎しみや怒りといった感情であり、それが自分自身の心を蝕んでいきます。事件のニュースを見ていますと、近所の人がインタビューを受けるときに、「まさか、あの子があんなひどいことをする人だとは思わなかった。普段は、きちんとあいさつするいい子でしたよ」と言うのを聞いたりします。誰でもそうですが、人は状況が許せば簡単に罪を犯してしまいます。普段日常ではまったくそう見えなくても、心の奥底には、そのような罪の思いを抱えているのが私たち罪ある人間であることをいつも自覚していなければなりません。人がうわさ話や陰口をたたいているところにいとも簡単に乗っかってしまい、人を言葉で攻撃し、そのうちに、そんなことをしている自覚すら失っていたりします。人から言われた言葉でカチンと来る時に、「怒ってはいけない、冷静

にならなくちゃ」と、理性を持って抑えようとしますが、怒りの思いは決して消えることはありません。だんだんとその思いが心の中で育って行き、やがては必ず言葉や行動、態度に現れて来ます。主の前にくず折れて、赦しを乞うて悔い改めることがなければ、解決はありません。私たちは自分に頼って生きようとすることに懲りないといけません。エレミヤ書には、「人の心は何よりも陰険で、それは直らない。(エレミヤ17：9 第三版)」とあります。人の心には、表向きはよく見せていて、内側ではこっそり悪を企んでいる、そんな陰険な心がいつもあるということです。

「自分が生きているから失敗してしまうのだ」と自覚する人は幸いであると思います。

キリストが私のうちに生きておられる

そのようにして自分の愚かさを自覚するとき、「こんな自分は嫌だ。私が生きていてはダメだ。私のうちには希望を見出せない」と自分自身に絶望します。行き詰まって自分自身に落胆する時にはじめて、「こんな汚れた、弱く情けない私の、このありのままを愛してくださる方がおられる」と知って、主のあわれみにすがることができるようにされます。

私は、以前の仕事で、初めは自分自身の力に頼ってやる気を保っていましたが、それがだんだんと砕かれて、「頼るものがない」と不安と恐怖に襲われた時、自分自身に絶望しました。自分がいかに無力であるのかを悟られました。そこではじめて、

「主はこんな私のありのままを愛してくださっているのだ」と神様の愛を知りました。「この情けないものを抱えたのがありのままの私であって、これからは、それをおおい隠してがんばらなくていいのだ、神様に従っていけばいいのだ」と教えられました。そして、みもとに重荷を下ろして、「これからは、主が私のことを支え導いてくださる、主の言われることに従っていけばいいのだ」という信仰と希望が与えられました。

イエス様について行く

私たちの中で今、「私の仕事はこの先うまくいくだろうか」と焦る思いが襲って来たり、イライラして心にゆとりがなく過ごしている人もいるかもしれません。そんな思いに支配されそうになる時、その思いを自分で何とかしようとしたりせず、主のみこころを求めてまいりましょう。イエス様は、「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負って、わたしに従って来なさい。(マタイ16：24)」と言われました。私たちはイエス・キリストを信じて、キリストと一緒に十字架につけられました。古い自分に死んで、イエス・キリストというお方を心のうちにお迎えして新しくされました。今自分の身に起きているすべてのことを主にゆだねて、主に従ってまいりましょう。

(岩下 栄作)